

認知症予防を語る

東信経済倶楽部が講演会

多治見市

東濃信用金庫の取引先企業でつくる東信経済倶楽部は11日、講演会を多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開き、医療法人ブレイン(土岐市)理事長の長谷川嘉哉さんが「認知症に備えてみませんか」と題して講演した。

通らなくなったり、怒りっぽくなったりする「早期」、服薬管理が難しくなるといった「中核」、人格・性格が変化する「周辺」の3段階の認知症の症状やアルツハイマー型、血管性認知症といった原因疾患を紹介。認知症にならないために、生活習慣病の予防、運動、食事、感情をうまくコントロールする生活習慣を挙げ、「認知症は症状、段階、予防・治療があることを知っておくことが大切。知ることによって不安が解消され、後悔しない正しい選択ができる」と語った。(野中準二)



「認知症に備えてみませんか」と題して講演する長谷川嘉哉さん=多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

長谷川さんは理屈が